



# さざんか

## 県立北薩病院だより

第172号

2月

## 神経内科について

“神経内科”で、どんな病気を診ているのか良く尋ねられますが、脳、脊髄、手足の末梢神経、筋肉などに原因があり、体に支障をきたす病気を診ています。突然脳の血管が詰まってしまい麻痺を起こす脳梗塞、脳の血管が破れる脳出血の一部(手術が必要な場合は、脳神経外科がある病院に相談します)、手足が震えたり、思うように手足が動かないパーキンソン病といった病気が主ですが、他にも様々な症状で患者さんが来院しています。



外来にはよく頭痛やふらふら感があり、頭に異常がないか心配し検査を受けたい患者さんが来院しています。いろいろな種類の頭痛の患者さんも診ます。若い(特に女性)患者さんで、頭の中に心臓があるぐらい、ひどく脈打つ頭痛が起こる方がいます。一旦頭痛が起こると鎮痛



神経内科部長 有村 仁志

剤を飲んででも効かず、周りが明るかったり、うるさいと痛みがひどくなるので、頭痛が起きたときは嵐が過ぎ去るのを待つように布団をかぶりじっとしています。これは片頭痛といい、頭の中の血管が拡張することが原因とされています。最近トリプタン製剤といい、広がった血管を縮めて痛みを抑える薬も使えるようになりました。



食事などで顔を動かしたときや、ひどいときは風が顔に当たっただけで電気が走るような一瞬の強い痛みが起こる方がいます。これは三叉神経痛(さんさしんけいつう)といい、頭の中の小さな血管が顔の感覚を脳に伝える三叉神経に触れているのが原因の場合が多いです。てんかんに使う薬などで対応可能です。

眼や顔の筋肉がびくびく動く(眼瞼けいれん、片側顔面けいれん)、首が勝手に横に動く、横に傾く(痙性斜頸:けいせいしゃけい)患者さんを診ることもありますが、最近ボトックスという、筋肉を麻痺させるボツリヌス毒素を余計な力が入る筋肉に注射し、ある期間症状を和らげることもできます。少々高価ですが、飲み薬では治療しづらいので、患者さんと相談の上、注射をしています。

他にも様々な症状の患者さんを診ていますが、手足のこと、頭のことでご気になることがありましたら、是非ご相談ください。

## 脳ドックのご案内 ~ 脳疾患の早期発見に ~



当院ではMRI(磁気共鳴断層撮影装置)を用いて、脳の断面、脳の血管の状態を調べる脳ドックを行っております。MRIは磁気を使い、脳梗塞、脳腫瘍、脳出血の痕などが脳の中にあるかどうか詳しく調べることができます。またMRIを用いた血管撮影(MRA)では頭の中、頸の血管で狭くなった部分、脳の血管にできたこぶ(脳動脈瘤)があるかどうかを検査できます。



- 脳ドックは予約制です(毎週火曜日)
- 所要時間: 午後~(およそ2時間)
- 費用: 約27,530円
- 検査項目: 頭部MRI検査・MRA検査、血液検査、心電図検査



# 北薩病院 縁の下の力持ち

## < 臨床検査部 >



今月は臨床検査部にお邪魔しました。



質問：お仕事で大変なこと、苦労されている事がありますか？

答え：検査機器のトラブルのために検査結果が遅れること。  
そうならないために、日常の点検や精度管理に力を注いでいます。  
救急当番は、通常の日勤のあと、夜勤（当番）・次の日の早出勤務と続くのが大変です。

質問：皆さんのお仕事の内容を教えてください。

答え：臨床検査部は、大きく分けて検体検査と生理検査に分かれます。  
検体検査は、患者さんから血液・尿・痰などを採取して検査します。  
生理検査は患者さんの心臓や肺・脳などの働きを電氣的に波形として観察する検査です。

調子は  
どうですか？

質問：お仕事のやりがいや、この仕事をしていて良かったエピソードを教えてください。

答え：検査の結果から、患者さんの病気の診断や治療効果の判定など、診療に役立つ仕事ができることにやりがいを感じます。  
また、生理検査などで、患者さんに「ありがとう」と感謝されると、この仕事をしていて良かったと感じます。



V X顕微鏡  
による病理  
検査画像